

平成 29 年 12 月 11 日

## 法人企業景気予測調査(29 年 10～12 月期)

景況判断は、4 期ぶりに「上昇」超に転じる。  
— 製造業の B S I は過去最高

### ➤ 景況判断 B S I の業種別の結果

全産業	3.5	(前回 ▲ 1.7)	—	食料品等で「上昇」超
製造業	18.2	(前回 0.0)	—	食料品等で「上昇」超
非製造業	▲ 2.4	(前回 ▲ 2.4)	—	建設で「上昇」超、運輸、郵便で「下降」超

### ➤ 景況判断 B S I の先行きの見通し (全産業)

30年 1～3 月期	▲ 0.9	「下降」超の見通し
30年 4～6 月期	▲ 5.2	「下降」超の見通し

### ➤ 企業収益、設備投資：29年度通期見込み

売上高	前年比： 3.4%	—	はん用機械等で増収
経常利益	前年比： ▲16.5%	—	その他の輸送用機械等で減益
設備投資	前年比： 20.7%	—	非鉄金属、その他の輸送用機械等で増加

(注1) 売上高、経常利益は、電気・ガス・水道業、金融業、保険業除く。

(注2) 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

### ➤ 従業員数判断

従業員数判断 B S I は 33.0 となり、引き続き「不足気味」超

### ➤ 回収率等

- ・回収率 92.0% (対象企業数：125、回答企業数：115)
- ・次回調査結果の公表予定は3月



# 法人企業景気予測調査結果

## 長崎県の概要

(平成 29 年 10～12 月期調査)

平成 29 年 12 月 11 日

財務省福岡財務支局長崎財務事務所

本件についてのお問い合わせ先

長崎市筑後町3番 24 号

財務省 福岡財務支局 長崎財務事務所

財務課 ☎095(827)7095

## [調査要領]

### 1. 調査の目的と根拠

この調査は、我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(5、8、11、2月)実施することとなっている。

### 2. 調査対象

県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下、資本金という。)1千万円以上(ただし、電気・ガス・水道業及び金融、保険業は資本金1億円以上)の法人。なお、毎年4～6月期調査開始前に調査対象企業の抽出替えを実施。

### 3. 今回調査の調査時点

平成29年11月15日

### 4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送、または、オンラインにより自計記入を求める方法によった。また、一部企業についてはヒアリングを実施した。

### 5. 調査項目の分析方法

- (1) 分析方法は、原則としてBSI(単位:%ポイント)による。BSIとは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称で、前期と比較した「上昇」又は「下降」等の変化方向別の回答数の構成比から、先行きの経済動向を予測する方法である。

(BSI = 「上昇」等と回答した企業の構成比 - 「下降」等と回答した企業の構成比)

(例)「景況判断」の場合

前期と比べて、「上昇」と回答した企業の構成比 : 30.0%、「不変」と回答した企業の構成比 : 40.0%

「下降」と回答した企業の構成比 : 20.0%、「不明」と回答した企業の構成比 : 10.0% の場合

**BSI = 30.0 - 20.0 = 10.0%ポイント ⇒ 10.0%ポイントの「上昇」超**

- (2) 回答企業数は、調査項目によっては該当しないものもあり一致しない。

### 6. 対象企業の内訳及び調査票の回収状況

	製造業	非製造業	合計	回答数	回収率
大企業(資本金10億円以上)	7	13	20	20	100.0%
中堅企業(資本金1億円以上10億円未満)	13	26	39	38	97.4%
中小企業(資本金1千万円以上1億円未満)	15	51	66	57	86.4%
合計	35	90	125	115	92.0%

### 7. 調査対象期間

#### (1) 判断調査

平成29年10～12月期又は12月末(現状判断)

平成30年1～3月期又は3月末(見通しⅠ)

平成30年4～6月期又は6月末(見通しⅡ)

#### (2) 計数調査

平成29年度上期は実績

平成29年度下期及び通期は実績見込み(又は計画)

## 1. 企業の景況判断………現状判断は「上昇」超に転じる

[現状判断]

29年10～12月期は、全産業では「上昇」超に転じている。

業種別にみると、製造業は、「上昇」超となり、非製造業では、「下降」超幅に変化は見られなかった。

規模別にみると、大企業は「下降」超に転じており、中堅企業は「上昇」超幅が縮小しており、中小企業は「上昇」と「下降」が均衡している。

[先行き見通し]

30年1～3月期は、製造業は「上昇」と「下降」が均衡する見通しとなっており、非製造業は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

規模別にみると、大企業は「下降」超幅が拡大し、中堅企業は「上昇」超幅が縮小し、中小企業は引き続き「上昇」と「下降」が均衡する見通しとなっている。

30年4～6月期は、製造業は「下降」超となり、非製造業は「上昇」と「下降」が均衡する見通しとなっている。

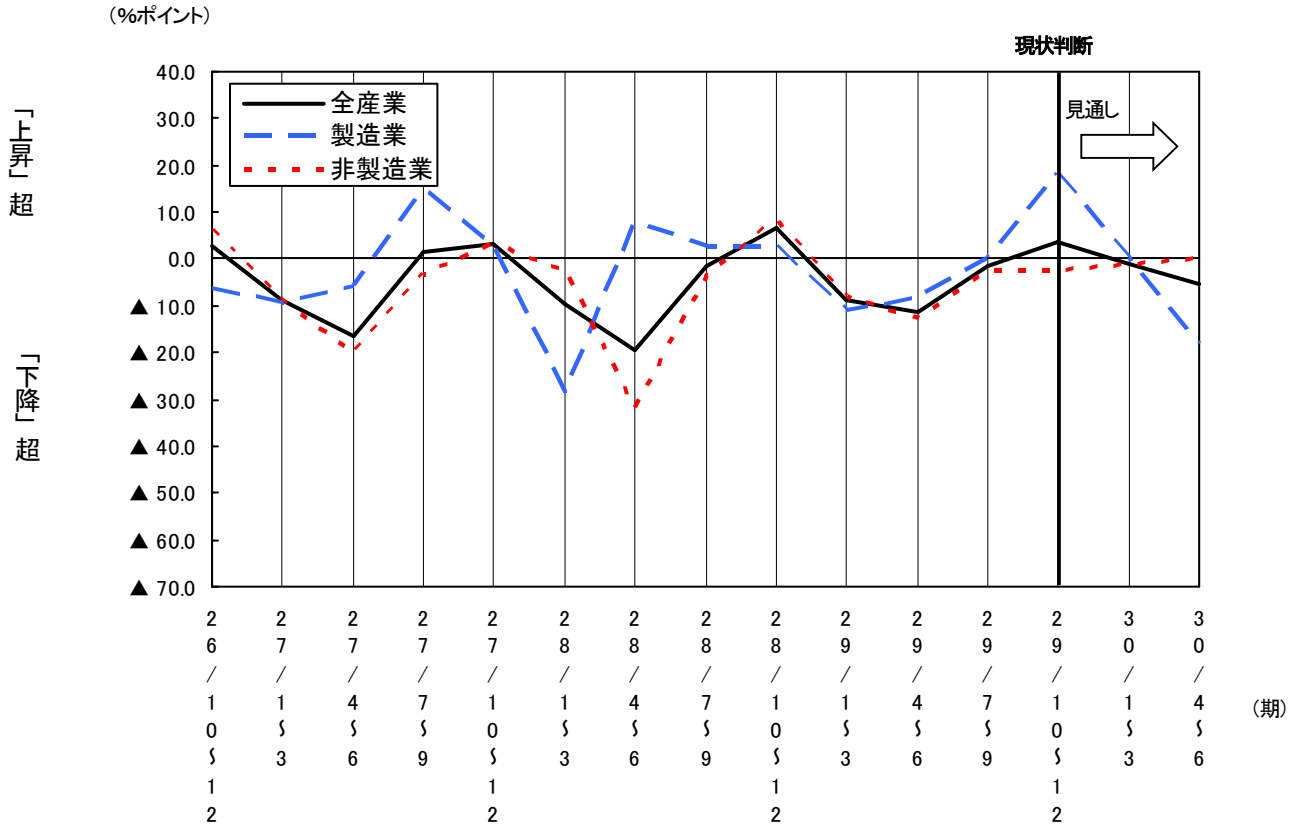
規模別にみると、大企業は「上昇」超に転じ、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超となる見通しとなっている。

(前四半期と比較して「上昇」-「下降」の社数構成比) (BSI: %ポイント)

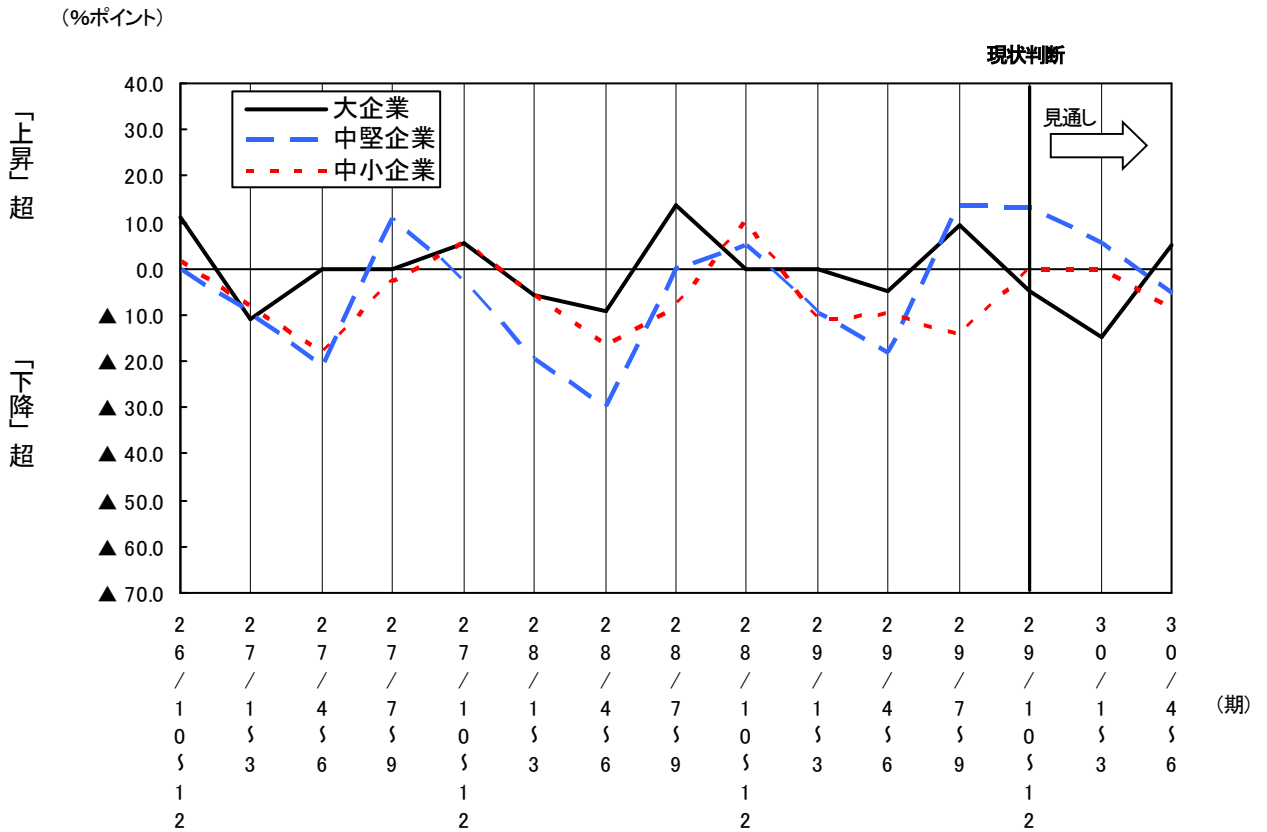
区分		前回調査 (29年7～9月)	現状判断 (29年10～12月)	見通し I (30年1～3月)	見通し II (30年4～6月)
		BSI	BSI	BSI	BSI
全産業		▲ 1.7	( 5.0) 3.5	(▲1.7) ▲ 0.9	▲ 5.2
業種別	製造業	0.0	( 5.9) 18.2	(▲17.6) 0.0	▲ 18.2
	非製造業	▲ 2.4	( 4.7) ▲ 2.4	( 4.7) ▲ 1.2	0.0
規模別	大企業	9.5	( 4.8) ▲ 5.0	(▲9.5) ▲ 15.0	5.0
	中堅企業	13.5	( 18.9) 13.2	( 0.0) 5.3	▲ 5.3
	中小企業	▲ 14.8	(▲3.3) 0.0	( 0.0) 0.0	▲ 8.8

(注) ( )は前回調査結果

### 企業の景況判断BSI推移グラフ(業種別)



### 企業の景況判断BSI推移グラフ(規模別)



## 2. 企業収益

### (1) 売上高……29年度は増収見込み

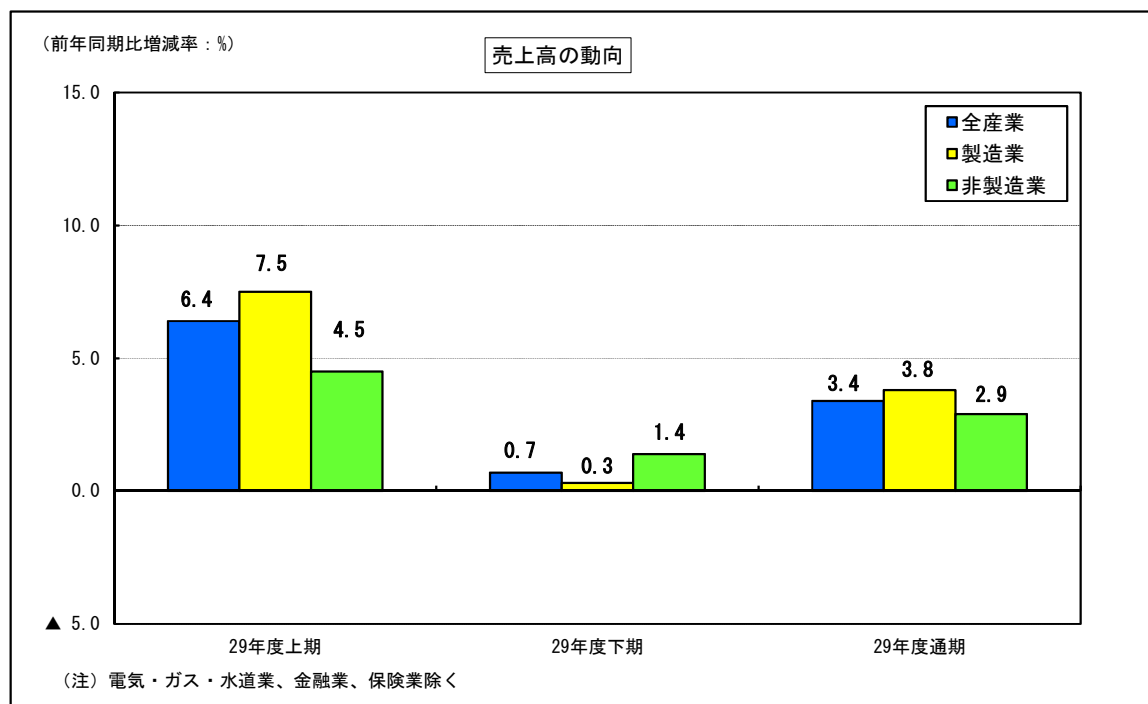
29年度下期は、製造業は前年同期比0.3%の増収見込み、非製造業は同1.4%の増収見込みとなっており、全産業では同0.7%の増収見込みとなっている。

29年度通期は、製造業は前年比3.8%の増収見込み、非製造業は同2.9%の増収見込みとなっており、全産業では同3.4%の増収見込みとなっている。

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度		
		上期	下期	通期
全産業		6.4	0.7	3.4
業種別	製造業	7.5	0.3	3.8
	非製造業	4.5	1.4	2.9
規模別	大企業	4.2	▲ 1.3	1.4
	中堅企業	5.8	3.6	4.7
	中小企業	17.1	0.8	8.2

(注) 電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く



## (2) 経常利益……29年度は減益見込み

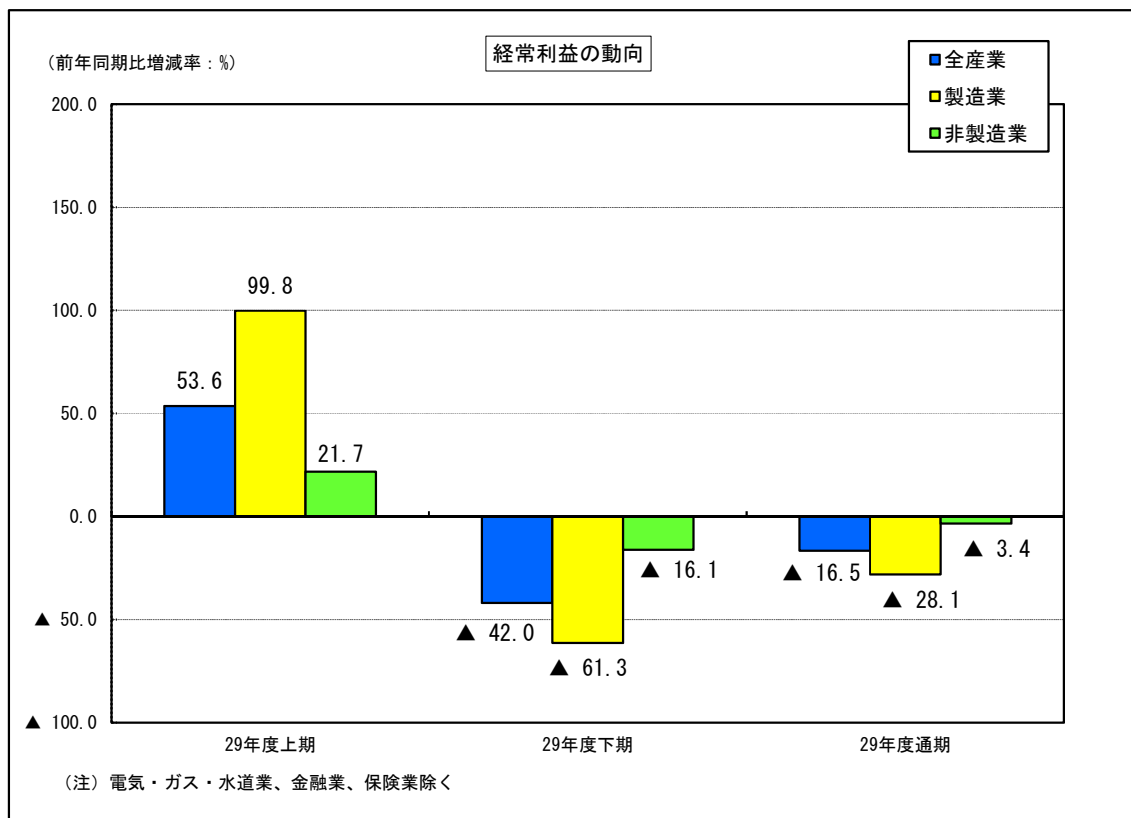
29年度下期は、製造業は前年同期比61.3%の減益見込み、非製造業は同16.1%の減益見込みとなっており、全産業では同42.0%の減益見込みとなっている。

29年度通期は、製造業は前年比28.1%の減益見込み、非製造業は同3.4%の減益見込みとなっており、全産業では同16.5%の減益見込みとなっている。

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度		
		上期	下期	通期
全産業		53.6	▲ 42.0	▲ 16.5
業種別	製造業	99.8	▲ 61.3	▲ 28.1
	非製造業	21.7	▲ 16.1	▲ 3.4
規模別	大企業	92.4	▲ 69.2	▲ 41.7
	中堅企業	23.6	6.1	13.7
	中小企業	286.3	▲ 0.4	27.0

(注) 電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く



### 3. 設備投資……29年度は増加見込み

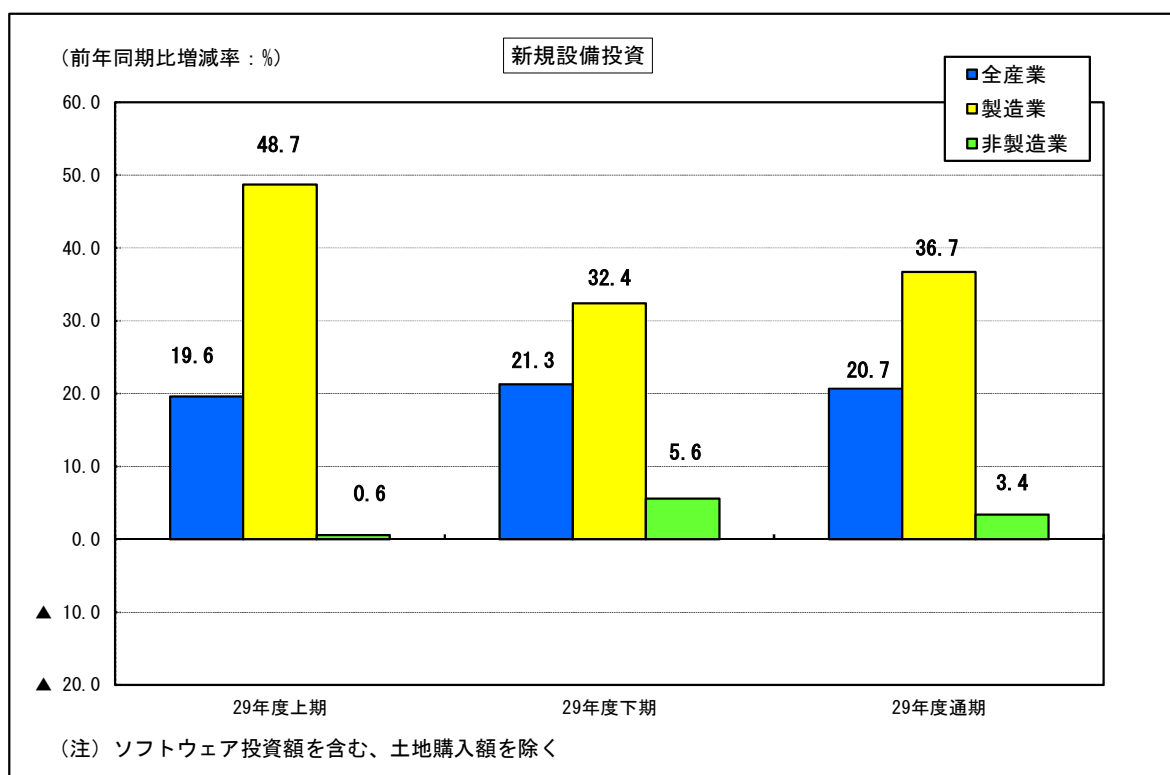
29年度下期は、製造業は前年同期比32.4%の増加見込み、非製造業は同5.6%の増加見込みとなっており、全産業では同21.3%の増加見込みとなっている。

29年度通期は、製造業は前年比36.7%の増加見込み、非製造業は同3.4%の増加見込みとなっており、全産業では同20.7%の増加見込みとなっている。

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度		
		上期	下期	通期
全産業		19.6	21.3	20.7
業種別	製造業	48.7	32.4	36.7
	非製造業	0.6	5.6	3.4
規模別	大企業	3.8	▲ 14.1	▲ 8.3
	中堅企業	25.1	177.4	107.7
	中小企業	223.3	42.7	98.5

(注) ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く





#### 4. 従業員数判断……現状判断は「不足気味」超幅が縮小

[現状判断]

29年12月末時点は、製造業は「不足気味」超幅が拡大しているものの、非製造業は「不足気味」超幅が縮小していることから、全産業では「不足気味」超幅が縮小している。

[先行き見通し]

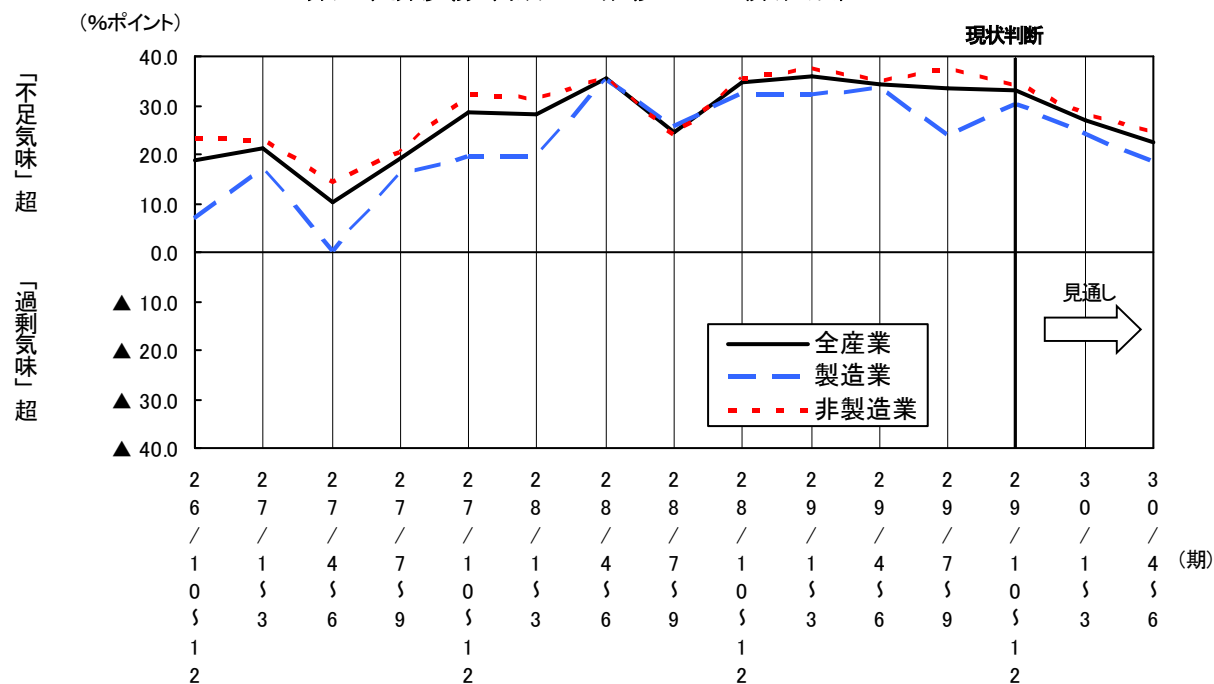
30年3月末時点は、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小することから、全産業では「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」の社数構成比) (BSI: %ポイント)

区分		前回調査 (29年9月末)	現状判断 (29年12月末)	見通しⅠ (30年3月末)	見通しⅡ (30年6月末)
		BSI	BSI	BSI	BSI
全産業		33.6	( 31.9) 33.0	( 31.9) 27.0	22.6
業種別	製造業	23.5	( 20.6) 30.3	( 17.6) 24.2	18.2
	非製造業	37.6	( 36.5) 34.1	( 37.6) 28.0	24.4
規模別	大企業	19.0	( 19.0) 20.0	( 19.0) 20.0	25.0
	中堅企業	32.4	( 29.7) 28.9	( 21.6) 21.1	23.7
	中小企業	39.3	( 37.7) 40.4	( 42.6) 33.3	21.1

(注) ( )は前回調査結果

企業の従業員数判断BSI推移グラフ(業種別)



(参考資料)

(1) 景況判断の決定要因

(回答社数構成比: %)

		29年7～9月 (前回判断)	29年10～12月 (現状判断)
「上昇」 要因	国内需要(売上)の動向	90.9	95.2
	海外需要(売上)の動向	22.7	14.3
	販売価格の動向	36.4	52.4
	仕入価格の動向	18.2	38.1
	仕入以外のコストの動向	9.1	9.5
	資金繰り・資金調達の動向	9.1	0.0
	株式・不動産等の資産価格の動向	0.0	0.0
	為替レートの動向	13.6	0.0
	税制・会計制度等の動向	4.5	4.8
	その他	0.0	0.0
「下降」 要因	国内需要(売上)の動向	87.5	76.5
	海外需要(売上)の動向	12.5	11.8
	販売価格の動向	54.2	17.6
	仕入価格の動向	33.3	41.2
	仕入以外のコストの動向	8.3	29.4
	資金繰り・資金調達の動向	4.2	17.6
	株式・不動産等の資産価格の動向	0.0	0.0
	為替レートの動向	4.2	5.9
	税制・会計制度等の動向	0.0	0.0
	その他	12.5	5.9

(注) 1. 金融業、保険業を除く。  
2. 10項目中1社3項目以内の複数回答。

(2) 30年度の企業収益・設備投資見通し

(回答社数構成比: %)

項目		増加	増加 (10%以上)	やや増加	今年度並み	減少	やや減少	減少 (10%以上)	不明
売上高	全規模	30.7	8.0	22.7	47.7	15.9	13.6	2.3	5.7
	29年度	32.1	9.2	22.9	36.7	14.7	11.0	3.7	16.5
	大企業	27.3	0.0	27.3	36.4	27.3	27.3	0.0	9.1
	中堅企業	38.2	8.8	29.4	44.1	14.7	11.8	2.9	2.9
	中小企業	25.6	9.3	16.3	53.5	13.9	11.6	2.3	7.0
経常利益	全規模	25.0	5.2	19.8	51.0	17.7	13.5	4.2	6.3
	29年度	24.2	5.2	19.0	39.7	17.2	11.2	6.0	19.0
	大企業	23.5	0.0	23.5	47.1	17.6	17.6	0.0	11.8
	中堅企業	27.7	8.3	19.4	47.2	22.2	19.4	2.8	2.8
	中小企業	23.3	4.7	18.6	55.8	14.0	7.0	7.0	7.0
設備投資	全規模	21.2	7.4	13.8	42.6	18.1	9.6	8.5	18.1
	29年度	23.3	8.6	14.7	37.1	13.8	7.8	6.0	25.9
	大企業	23.5	5.9	17.6	52.9	11.8	5.9	5.9	11.8
	中堅企業	27.7	8.3	19.4	44.4	16.7	11.1	5.6	11.1
	中小企業	14.6	7.3	7.3	36.6	22.0	9.8	12.2	26.8

(注) 1. 全産業ベース。ただし、売上高は金融業、保険業を除く。  
2. 端数処理の関係により、「増加」+「今年度並み」+「減少」+「不明」=100にならない場合がある。  
3. 29年度の数値は、平成28年10～12月期調査における「来年度の企業収益・設備投資見通し」についての回答社数構成比。

(3) 経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を含む)

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度		
		上期	下期	通期
全産業		32.2	▲ 37.4	▲ 11.9
業種別	製造業	99.8	▲ 61.3	▲ 28.1
	非製造業	13.9	▲ 15.7	▲ 1.9
規模別	大企業	31.2	▲ 56.1	▲ 24.9
	中堅企業	25.6	5.0	13.9
	中小企業	286.3	▲ 0.4	27.0

(4) 設備投資(ソフトウェア投資額及び土地購入額を除く)

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度		
		上期	下期	通期
全産業		22.2	23.0	22.7
業種別	製造業	49.5	33.0	37.4
	非製造業	3.1	7.5	5.5
規模別	大企業	4.9	▲ 13.8	▲ 7.8
	中堅企業	28.0	185.6	113.6
	中小企業	234.6	43.1	101.7